事　業　計　画

記載例

**令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）**

　医療法人全体としては、令和4年度、令和5年度ともに黒字であり、経常利益額も増加している。令和6年度は収支ともに実績ベースを想定するが、伸び率が顕著な診療所については、引き続き患者数増を目指し取り組んでいく。

【A診療所】（既存診療所：12か月分）

* 予算の見込み：患者見込数・予算単価ともに令和5年度の実績ベースで設定
* 人員構成：職員数の増減は想定していない。
* 施設整備費：オートクレーブ１台　2,320千円
　　　　　　その他修理費用　　　1,000千円

【B診療所】（既存診療所：12か月分）

* 予算の見込み：令和4年度から令和5年度の月平均患者数実績が伸びていることから、令和4年度～令和5年度伸び率を令和5年度月平均患者数実績に掛け設定。
なお、単価の設定に変更はない。
＜計算内容>

* 人員構成：職員増
　　　　　医師1名（非常勤）、看護師1名（常勤）、事務員1名（常勤）
* 施設整備費：レントゲン機器の入れ替え　5,000千円
　　　　　　その他の修理費用　　　　　1,000千円

【C診療所】（新規診療所：4か月分）

令和6年12月1日開設予定のため、4か月分の収支を想定する。地代家賃のみ、賃料発生日が令和6年10月1日のため、6か月分を想定し計上する。

* 予算の見込み：診療科目、施設規模が類似しているA診療所（既存診療所）の実績から設定。初年度のため、自費収入及び社会保険等収入のどちらともA診療所の令和5年度実績の70％程度とする。単価の設定は、A診療所の見込みと同一とする。
<計算内容＞

* 人員構成：医師1名（常勤）、医師１名（非常勤）、看護師２名（常勤）、事務員２名（常勤）を雇用予定。
* 開設に係る資金計画

一部医療機器については、リースにて調達する。
○○銀行の融資については、令和7年6月まで元金返済が猶予されているため、利息返済分のみ予算書に計上する。

**令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）**

　医療法人全体として、患者数・費用類は令和6年度事業計画並みを想定し、設定する。

また、更なる分院展開を想定し、調査費用1,000千円、施設整備費用積立金5,000千円を予算立てする。

【A診療所】（既存診療所：12か月分）

* 予算の見込み：患者見込数・予算単価ともに令和5年度の実績ベースで設定
* 人員構成：前年度から職員数の増減は想定していない。
* 施設整備費：分院調査費用　　　　　　　1,000千円
　　　　　　分院用施設整備費用積立金　5,000千円
　　　　　　その他修理費用　　　　　　1,000千円

【B診療所】（既存診療所：12か月分）

* 予算の見込み：患者見込数・予算単価ともに令和6年度の事業計画ベースで設定
* 人員構成：前年度から職員数の増減は想定していない。
* 施設整備費：その他修理費用　1,000千円

【C診療所】（新規診療所：12か月分）
○○銀行の融資については、令和7年6月から返済が開始となるため、元金返済分及び利息返済分を予算書に計上する。

* 予算の見込み：定期通院の患者数増により、A診療所（既存診療所）令和5年度実績の90％程度まで患者数が増加すると想定。単価の設定は、初年度の見込みと同一とする。
＜計算結果＞

* 人員構成：前年度から職員数の増減は想定していない。
* 施設整備費：その他修理費用　1,000千円